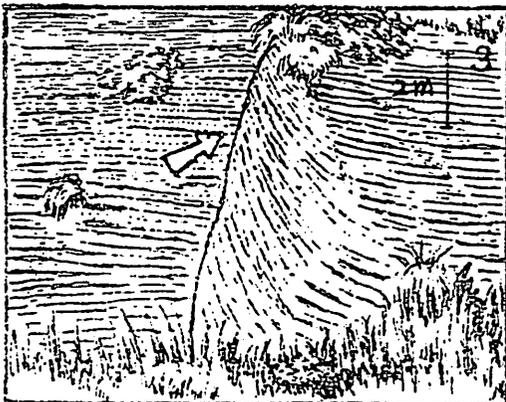
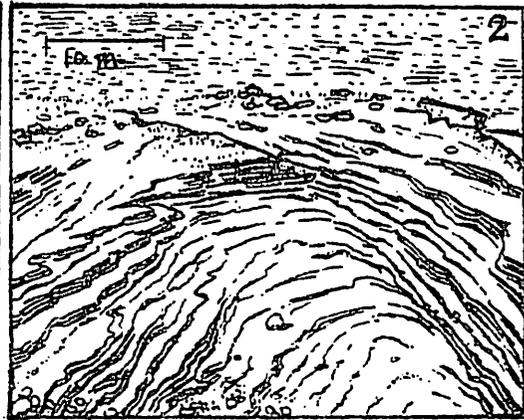
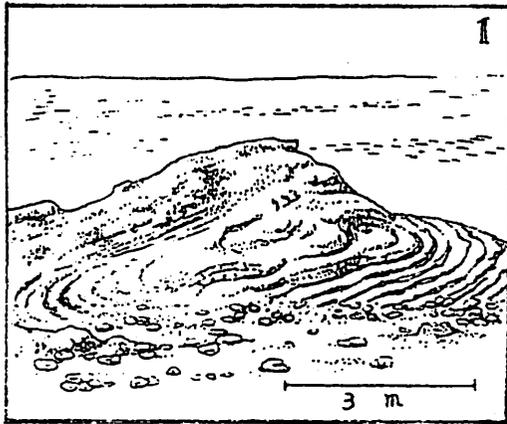
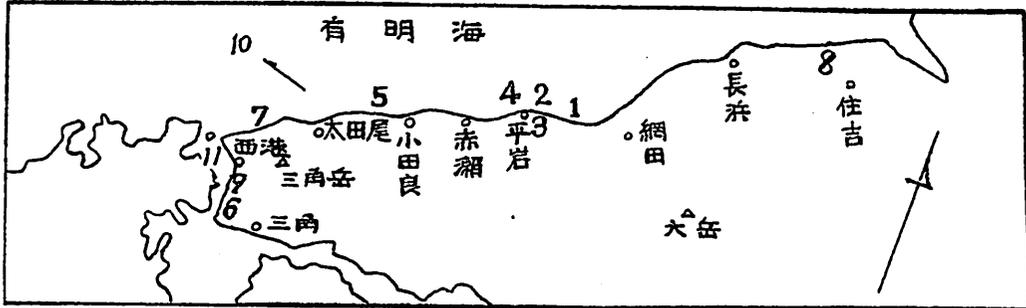
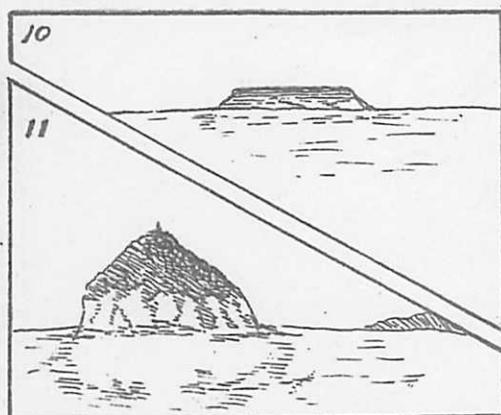
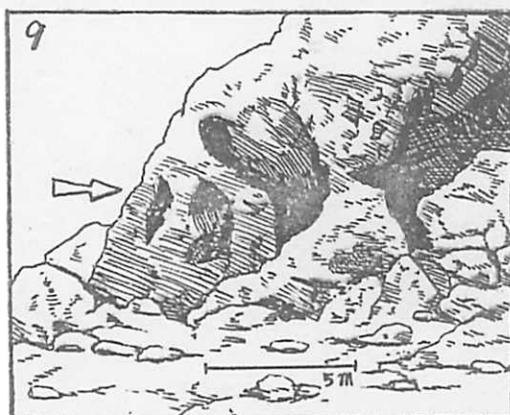
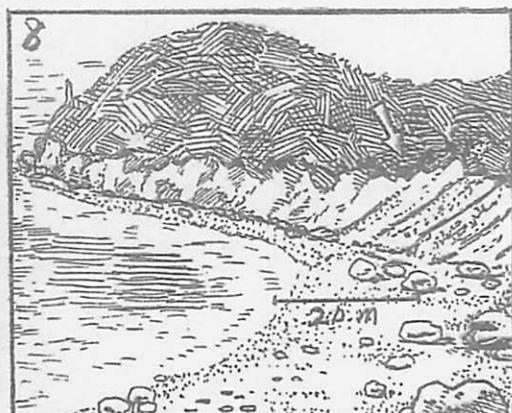
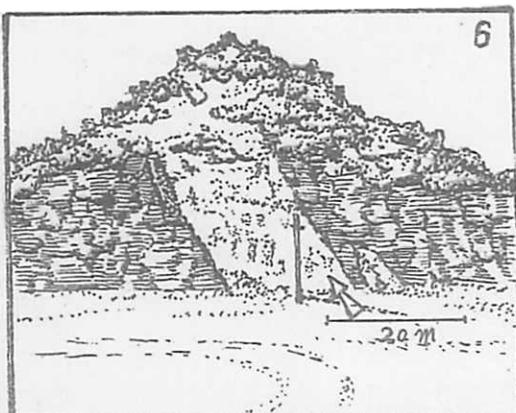


絵てみる地質教材 (宇土半島)

三角町 育海中 田代正之





宇土半島は地質教材が豊富な所です、そこで、かつて宇土半島をお廻りになつた方には、再度思い出して頂たくよう、又初めての方には、ぜひ一度は見て頂きたいと思う場所を選んで絵にしてみました。会員諸氏の参考になれば幸いです。

図版説明

1 フトン岩

網田町戸口の浦御興来海岸（景行天皇記念碑のやゝ東方）に観られる。姫ノ浦層群（上部白堊系浦川統）の砂岩頁岩細互層の上に2m位の厚さの礫岩が重なっている。このふと

ん岩はおそらくまだ岩石が固結しないうちに海底地之りの如き作用で、砂泥の層が地層面からすべり、上に重なる礫岩(この中には、数米大の花崗岩礫がある)の如き rigid muss の為に一見褶曲の如き観を呈したものである。

2 褶 曲

平岩よりやゝ北方の海岸に観られる。ゆるやかな背斜構造を示している。岩相は姫ノ浦層群の砂岩頁岩の細互層で、この附近の海岸は日南海岸の鬼の洗瀝岩に似たところもある。この頁岩の部分よりまれにイノセラムスやアンモナイトが出る。

3 断 層

②の位置附近の国道傍に観られる。これも姫ノ浦層群のものであり、地層の上盤(左側)がふしあげられたような(逆に下盤にあたる右側がずりおちたような)断層で、断層面は地層面に対し垂直に近い。図では逆断層のようにみえるが、ほとんど垂直断層であるために露頭していない上下の部分の傾斜如何では正断層とした方がよいかもしれない。

4 不 整 合

平岩海岸に観られる。姫ノ浦層群を赤崎層(古オ三系統新統)が斜交不整合関係でおくついている(矢印が赤崎層)。道路傍でも観察できる、道路傍では 30cm 位の薄い基底礫岩がみられる。

5 岩 脈 状 砂 岩

小田良より太田尾に至る海岸の古オ三紀始新世の教良木層の、黒色シルト岩中によく発達している。これは、教良木層中の亀裂(節理)に、二次的に砂が充たされてできたものである。

6 流 紋 岩 の 岩 脈

旧三角中学校校庭に観られるもので、流紋岩(リソイダイト)が教良木層のシルト岩を 20m 程の巾で略垂直に貫ぬいている。図の山頂部には、これらに不整合に洪積世の礫層が乗っている。

7 安 山 岩 の 貫 入

三角町西港海岸に観られる。図は、三角岬の角閃石安山岩が教良木層を貫ぬいている境を示している。安山岩は破碎され角礫岩状(集塊岩)を呈し、教良木層の岩石は変質し、擾乱されている。

8 凝 灰 角 礫 岩

住吉燈合の西岸の露頭で、安山岩質凝灰角礫岩の層理(矢印)が観られる。この上には安山岩熔岩が重なり宇土半島のかつての火山活動を知ることが出来る。この様な露頭は、半島南岸にもよく観られる。

9 海 食 洞

三角町馬立部落の海食洞で現在の海面より 2~3m 高い位置にある。土地の隆起を示すよき教材であろう。凝灰角礫岩でできている

10 玄 武 岩 台 地

有明海に浮ぶ湯島、長浜以西、太田尾迄の海岸線より、略西北方向にみえる熔岩台地である。

11 熔 岩 円 頂 丘

三角町西港からみた中神島(つりがね島)で、粘性の大きい角閃石安山岩よりなる。熔岩円頂丘のミニチュア版としてあげてみた。

この他、宇土半島は、網引村馬門の阿蘇熔結凝灰岩や、三角町一帯の海食崖や波食段丘、白岳砂岩層(始新世)の砂岩に観られる偽層や粗悪な石炭の薄層、白堊紀、オ三紀の化石等々、多くの教材に消化可能な地質現象をそろえています。紙面の都合で省かせて頂きます。